

虹の会

誰もが自分らしく生きることのできる
暮らしやすいまちづくりは

植松 恭一



問 性的マイノリティーの人や障がいのある人などが不平等を感じることなく、暮らしやすいと思えるまちづくりに対する取組は。

答 市長／性的マイノリティーの人や障がいのある人、外国にルーツを持つ人など、様々な主体が互いに多様性を認め合いながら生き生きと暮らしを営む社会の実現が必要不可欠であると考えている。このため、令和四年度においては、性の多様性の理解に向けたシンポジウムの開催や、医療的ケアが必要な児童が在籍する学校への看護師の派遣、多言語相談窓口による支援など、多様性を認め合う共生社会の実現に向けた各種施策を実施していく。

問 NHK大河ドラマを活用した観光振興について、市内に点在する地域資源を生かした取組は。

答 市長／NHK大河ドラマは舞台となる地域や登場人物などが大きな注目を集め、ゆかりの地を多くの人が訪れるなど、観光振興を図る上で絶好の機会であると考えている。浮島地区の大泉寺はNHK大河ドラマの登場人物である阿野全成とゆかりがあり、本市ではこれまで、NHK大河ドラマのパブリックビューイングの開催や、観光ポータルサイトにおい

て原・浮島地区の歴史・文化・食等と併せた情報発信を行うなど、原・浮島地区の連合自治会や商工会、地元の実業者等との連携により観光振興を図ってきた。現在は、阿野全成にちなんだメニューや土産物の販売、朝市の開催など盛り上がりを見せ始め、同地区を訪れる観光客も増加してきている。今後も、地元団体によるイベントの開催や物販などの取組を支援し、さらなる誘客につなげるとともに、関係団体や事業者と連携し、地元の宝として定着を図り、継続的な地元主導の観光振興につながるよう進めていく。



▲大河ドラマ「鎌倉殿の13人」(NHK) 静岡巡回展 (3/17～28・沼津市庁舎)

公明党

新型コロナウイルスワクチンの
三回目接種の促進に向けた取組は

長田 吉信



問 新型コロナウイルスワクチンの三回目接種の促進に向けた取組は。

答 市長／オミクロン株が猛威を振るう現状においては、できるだけ早期に、多くの市民が三回目の接種を受ける必要があると考えている。そのため、高齢者については、県内で最も早く三回目の接種を開始するとともに、全ての対象者の接種間隔を前倒ししている。また、ファイザー社製とモデルナ社製の交互接種の安全性について、正確かつ適切な情報提供を行うとともに、電話予約の回線の増設や予約代行窓口の開設、予約時期の分散化などによりスムーズに予約できるように対応していく。また、五歳から十一歳までの小児接種については、ファイザー社製のワクチンを使用し、個別接種を三月七日から、集団接種を三月二十六日から開始する予定であるが、保護者に対して接種効果や副反応等について丁寧に説明を行い、不安の解消に努めるとともに、医師会等関係者と緊密に連携し、さらなる安全・安心な早期の接種に努めていく。

問 コロナ禍における未婚化・晩婚化及び少子化傾向への対応として、結婚や出産に対する支援の取組は。

答 市長／本市では令和三年度より、新婚世帯の新生活に関わる費用の助成を開

始し、結婚を望む方への支援を行っている。令和四年度は、ふじのくに出会いサポートセンターにおいて、新たに登録者同士のマッチングシステムの運用が開始されるとともに、県下全域を対象とした婚活イベントや、相談員による結婚相談が行われるなど、さらなる出会いの拡充と結婚に向けた支援体制の充実が図られる。また、本市が開催する、縁結び隊による支援の継続と、本センターが行う事業との相乗効果により、未婚化・晩婚化及び少子化傾向への対策を拡充していく。あわせて、出産の支援においても、保健師や母子保健コーディネーターによる妊産婦への支援に加え、新年度においては、多胎妊婦に対する公費負担による検診制度を新たに創設するなど、さらにきめ細かな支援に取り組んでいく。

用語解説

ふじのくに出会いサポートセンター
(通称：しずおかマリッジ)

ふじのくに結婚応援協議会が運営する、結婚を希望する人をサポートするための結婚支援拠点。令和三年十一月に発足し、県及び県内三十五市町で構成される。